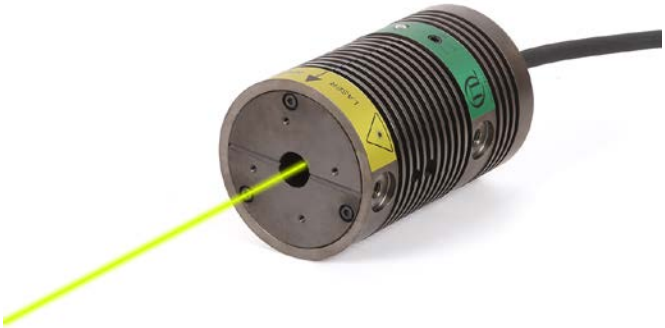
株式会社日本レーザー

News Release 2014/07/15

ライフサイエンス、材料科学の新しい可能性を開く黄色レーザー登場

独国 PicoQuant 社 560nm ピコ秒パルスダイオードレーザー発売

（株）日本レーザー（本社：東京都新宿区西早稲田 2-14-1、電話 03-5285-0861、社長：近藤宣之）は、独国 PicoQuant（ピコクアント http://www.picoquant.com/）の新製品 560nm ピコ秒ダイオードレーザーヘッド モデル LDH-D-TA-560 の販売を 2014 年 7 月 1 日より開始した。



LDH シリーズはパルス幅 最短 50ps の半導体ピコ秒パルスレーザーヘッドである。375～1990nm の波長域をカバーする多彩な発振波長をラインナップしている。

今回新たに追加された LDH-D-TA-560 は、これまでブランクであった黄色領域 560nm を発振する。パルス幅 80ps で、CW 発振も可能である。

560nm は、mCherry, RFP, DsRed といった蛍光タンパク質や CY3, Atto565 等の蛍光色素の励起に最適な波長で、バイオ分析や生化学等の新しい可能性を開くものである。また LDH-D-TA-560 は 80ps という短パルス発振であるため、多様な時間分解計測に対応することができる。

LDH-D-TA-560 は LDH シリーズの他のモデルと同様、オプションでファイバ結合が可能。また共通ドライバである PDL シリーズと互換である。概算価格は 282 万円～（税別。ヘッドのみ。別途ドライバが必要）。バイオ分析、生化学、遺伝子学、半導体評価、品質管理といった分野をターゲットに、初年度 10 台の販売を目指す。

主な仕様

- 中心波長　561 nm ±3 nm
- 繰返し周波数　シングルショット to 80 MHz
- パルス幅　< 80 ps (FWHM) (平均出力 0.2 mW, 繰返し周波数 40 MHz 時)
- 平均出力パワー　5 mW (CW)

以上

株式会社　日本レーザー
〒169-0051　東京都新宿区西早稲田 2-14-1　URL　http://www.japanlaser.co.jp/

本製品についてのお問合せ　レーザー機器部
電話 03-5285-0863　FAX 03-5285-0860　E-Mail：lase@japanlaser.co.jp

本リリースについてのお問合せ　販促業務部　部長　山田　昭正
電話 03-5285-0861　FAX 03-5285-0860　E-Mail：yamada@japanlaser.co.jp